

豊島区はWHO(世界保健機関)が提唱する

「セーフコミュニティ」の認証取得に 取り組みます

去る2月22日、区は、“安全”と“健康”そして“コミュニティ”の
三つの課題について、一体的かつ効果的な取り組みを展開していくため、
WHOが提唱する「セーフコミュニティ取組宣言」を行ないました。

当日は区議会をはじめ、警察、消防、町会、防犯・交通安全、医療、
そして高齢者、障害者、青少年、PTAなど、約90の地域活動団体が参
加し、推進母体となる部門を越えた協議会の設置を確認しました。

また、国際交通安全学会専務理事である石附 弘氏による、セーフコ
ミュニティの講演を行ないました。

認証までには、約2年間が必要です。定期的に情報を発信していきま
すので、皆さんのご協力をお願いします。



▲取組宣言を説明する高野区長

「セーフコミュニティ」とは

WHOが推進している、「けがや事
故等は偶然の結果ではなく、予防でき
る」との理念のもと、予防に重点を置
きつつ、生活の「安全」と「健康」の質を
高めていくまちづくり活動です。

安全・安心に関する区民主体の活動
を大切に活かしながら、科学的な原因
究明や部門横断的な連携・協働を加え、
その効果を高めていく取り組みです。

区政策調整担当副参事

代表 ☎3981 - 1111 内線 2010

【宣言文】 豊島区セーフコミュニティ取組宣言

豊島区では、町会やボランティア団体等による地域の見守り、
繁華街の治安対策、学校の安全対策、交通安全、さらには介護
予防や生活習慣病予防など、住民による活発な地域活動が展開
され、暮らしの安全と健康を守ってきました。

「セーフコミュニティ」は、「けがや事故等は偶然の結果では
なく、予防できる」との理念のもと、科学的な原因究明に基
づき、部門横断的な連携・協働を広げながら地域社会の安全の質
を向上させる世界基準のまちづくりであり、まさに豊島区が目
指す姿であります。

急速に高齢化が進むなか、けがや事故、犯罪や暴力、自殺、

虐待など、乳幼児から高齢者に至るまで、安全と健康をコミュ
ニティの力で守る仕組みを根付かせ、次の世代に引き継いでい
くことは、区民共通の願いです。

豊島区は、2012年に区制施行80周年を迎えます。これまで10
年間のまちづくりの集大成として、その節目の年に向けて、日
本一の高密都市ならではの「安全文化」の姿をつくりあげるた
め、WHO(世界保健機関)セーフコミュニティ協働センターが
提唱する「セーフコミュニティ」の認証取得に取り組むことを、
ここに宣言します。

平成22年2月22日 豊島区